

2020年5月13日

報道関係者各位

日本歯磨工業会

2020年度 歯と口の健康週間にあたって

日本歯磨工業会（会長 濱田和生）では、歯と口の健康週間（6月4日～10日）に向けて例年どおり口腔衛生を呼びかける歯と口の健康啓発ポスターを制作し全国にお届けします。

本リリースでは、「歯と口の健康週間」に関連する取り組みと当工業会の活動についてご紹介します。

『歯と口の健康週間の沿革』

「歯と口の健康週間」は、国民に対する歯科衛生思想の普及運動として1928年6月4日に「むし歯予防デー」の名称で行われたのに始まり、以後、戦時中一時中断しましたが1949年から週間行事となりました。1952年には6月4日から10日までの1週間に定められ、1958年より「歯の衛生週間」として毎年実施、2013年より「歯と口の健康週間」として新たにスタートしました。

『2020年度 歯と口の健康週間について』

目的：この週間は、歯と口の健康に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって国民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。

標語：「咲かそうよ 笑顔の花を 歯みがきで」（和歌山県有田市立保田小学校6年 ^{わかむらきほ}脇村幸歩さん作）

本年度重点目標：生きる力を支える歯科口腔保健の推進～生涯を通じた8020運動の新たな展開～
歯と口は国民が健康に生きていく力を支えるものであり、歯科疾患の予防や歯と口の健康を保持する取り組みを進める必要があることから、「生きる力を支える歯科口腔保健の推進」を重点目標とする。

実施期間：2020年6月4日（木）～同年6月10日（水）まで

主催：厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会、日本学校歯科医会

<1> 2020年度 歯と口の健康啓発ポスターの配布

当工業会では、例年どおり今年も口腔衛生を呼びかけるポスターを制作し、全国にお届けいたします。

『企画・制作』 厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会、日本学校歯科医会及び日本歯磨工業会

『デザイン』 アランジアロンゾ（B3サイズ 多色刷り）

『2020年度 標語』 「咲かそうよ 笑顔の花を 歯みがきで」

【日本学校歯科医会】が募集した小中学校の標語の中から
和歌山県有田市立保田小学校6年 脇村幸歩さんの作品が選定されました。

「8020運動を進めよう」（厚生労働省・日本歯科医師会が提唱する口腔保健の目標）

「一生、自分の歯で食べよう」（日本歯科医師会の標語）

「午後のスタートハミガキから」（日本歯磨工業会の標語）

『配布』

ポスター26万枚を作成し、全国の小・中学校をはじめ、保健所、歯科医院、各関係官庁、協力団体などへ配布し、口腔保健の大切さ、毎食後の歯みがきの大切さを呼びかけています。

『活用』

このポスターは、歯と口の健康週間だけでなく、「口腔保健の必要性を訴求する年間ポスター」としてご活用をお願いしています。「歯と口の健康週間（6月4日～10日）」後は、下部の日付部分を切り取って、ご使用いただけるレイアウトにしています。



2020年度 歯と口の健康啓発ポスター

< 2 > ホームページからの情報発信について

「みがこうネット」では、新たなコンテンツの追加、情報の更新など、生活者のみなさまへ歯や歯みがきに関する情報を発信しています。また、「工業会サイト」では、会員各社の製品一覧や歯磨出荷統計の掲載など工業会の活動の様子を適時伝えています。【 <http://www.hamigaki.gr.jp/> 】

1. 2020年度の「みがこうネット」「工業会サイト」の閲覧者状況と人気コンテンツ

●閲覧者の状況

総アクセス数は前年とほぼ同数の33万件、閲覧者は女性66%。男性34%で男性の構成比が前年から6%増、閲覧端末は、スマホなどモバイルが58%、PC36%、タブレット6%でモバイルの構成比が前年から4%増となっています。

●新コンテンツ「お口のセルフケアのコツ・ビジネスパーソン編」の公開

日本歯磨工業会ビジョン実現に向けた施策の1つとして「オーラルセルフケアのアドバイザー」として、日々のお口のケアのコツを簡潔に楽しく発信していく取り組みを始めました。2019年10月には、その第一弾として「ビジネスパーソン編」を公開。起床、出社から就寝までのシーン毎に、会議直前のとっさの口臭ケアの方法、ランチで歯に着色しやすい食品や着色汚れの防ぎ方、効果的で続けやすい歯間ケアのコツなどを紹介しています。



●人気コンテンツの状況

こどもの年齢別歯育て情報「パパ・ママ・キッズ歯育て講座」のアクセス数が昨年も1.3万件増加と2年連続で上昇、「お口のセルフケアのコツ・ビジネスパーソン編」や「歯みがきしない子にかかってくる?! 歯みがき電話」もアクセス数が伸び、「シニア講座」のだ液の出し方に関するコンテンツが検索サイトから数多くアクセスされました。

2. 「みがこうネット」の2020年度コンテンツ制作・更新予定

(1) 歯みがき啓発のための読者参加型キャンペーンの継続実施

①第20回歯と口の健康週間企画「標語募集キャンペーン」(4月～6月)

②第9回「クイズに答えて『歯カセ』になろう! 歯みがきクイズキャンペーン」(8月～10月)

(2) 2020年度の新規コンテンツ

「お口のセルフケアのコツ」第2弾として「シニア編」を制作中

(3) 各コンテンツの企画案

- ・はみがき学級 はみがきカレンダー (年4回更新)
- ・がんばれ! みがく君 (年2回更新)
- ・メールマガジンの継続発行 (キャンペーン開始・新コンテンツの告知)

3. 歯と口の健康週間企画

●第20回標語募集キャンペーン

歯と口の健康週間に合わせ、「歯の大切さ、口の健康の大切さを言葉にしてみませんか」をテーマに標語を募集し、歯と口の健康の関心を喚起すると共に歯磨の重要性を啓発します(4月1日～6月30日の3ヶ月間で実施中)。最優秀賞、優秀賞、ユニーク賞、ファミリー賞、佳作、キッズ最優秀賞、キッズ優秀賞に選ばれた32作品の作者の方に賞金や記念品を贈呈し、当工業会の標語として幅広く活用していきます。本年は、昨年度の応募作品総数14,845作品を上回る応募を目指します。

< 昨年の第19回標語募集キャンペーン 最優秀賞 >

「丈夫な歯 歯磨き上手で 金メダル」(福島県在住 齊藤向日葵^{ひまわり}さんの作品)

< 3 > 啓発冊子の配布

オーラルセルフケアの重要性や効果的なケア方法を解説する冊子を適宜改訂しながら配布しています。

- 保健指導者向けテキスト「歯を守る—健やかな生活は口腔保健から」（A 4 版、イラスト・図版多用）
全身の健康維持増進に関わる口腔保健の重要性や、歯磨剤の働き、効果的な歯みがき方法などを解説
- 歯科専門家向け「歯磨剤の科学」（B 5 版、データ図表多用）
口腔保健剤の歯磨剤の基本的機能、薬用歯磨剤の効果、安全性、セルフケアなどを解説

< 4 > 日本歯磨工業会の最近の主な活動のご紹介

- 日本歯磨工業会ビジョン実現と工業会設立 50 周年（2021 年）に向けた活動
当工業会が 2021 年 6 月に設立 50 周年を迎えるにあたり、2018 年には「歯と口の健康を通じて、人々の快適な生活の実現と健康寿命の延伸に貢献する」という日本歯磨工業会の「使命」と 5 項目からなる「ビジョン」を制定、オーラルセルフケアの頼れるパートナーとしての啓発活動や、シニア層に向けた啓発情報提供、海外関連団体との交流などを強化して活動を進めています。
- 歯科衛生士養成校、歯科衛生士会等での特別授業（講演）開催
日本歯磨工業会では技術委員会が中心となり、歯みがきに関する正しい情報を提供することを目的に、1993 年から毎年、歯科衛生士養成校および歯科衛生士会へ専任講師や技術委員を派遣して特別授業、講演会を開催しています。2019 年度の開催回数は 41 件、本年度も積極的に活動します。
- 自治体との連携による高齢者の健康づくりに貢献する活動
2019 年 3 月 19 日、10 月 29 日の 2 回、藤沢市の地域包括支援センターと共同で、地域の高齢者やケアマネージャに向けた「健康長寿のためのお口と歯の健康教室」を開催しました。今後も、自治体との連携による高齢者のオーラルセルフケア啓発活動を実施していく予定です。

■日本歯磨工業会について

国民の口腔衛生の普及・向上に寄与するとともに、健康産業として歯磨及び関連業界の発展を図ることを目的とした団体で、行政官庁、関連業界、消費者団体等との情報交換、歯磨剤に関する情報提供、口腔衛生に関する健康啓発情報の情報発信を行っています。例えば、「歯と口の健康週間」に協力し、歯磨剤を通じての口腔衛生の普及・向上を図るキャンペーンを行っているほか、ISO などの国際会議に積極的に参加し、歯磨剤等の国際規格作成にも協力しています。1971 年 6 月に設立、会員 14 社、賛助会員 13 社が参加し、業務委員会、広報委員会、広告委員会、技術委員会、薬事委員会で活動しています。

本件のお問い合わせ先： 日本歯磨工業会 清原 隆生 TEL 03（3249）2511

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 2-4 三報ビル 7F

TEL03-3249-2511 FAX03-3249-2513 <http://www.hamigaki.gr.jp/>

2020年度「歯と口の健康週間」にあたって

日本歯磨工業会 会長

濱田 和生

現在、私たちは世界中で過去経験したことがない新型コロナウイルス感染拡大の渦中にあり、命と健康の危険にさらされています。当工業会においても、日本のみならず全世界の人々が、一日も早く、健康と平穏な生活を取り戻すことを願い、会員各社、関連する機関および人々と力を合わせて、感染拡大防止に尽力してまいります。

このような状況の中で、「歯と口の健康週間」が今年も6月4日から10日まで全国的に展開されます。本週間の目的は、歯と口の健康に関する正しい知識を国民の皆様に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図ることにあります。また、歯の健康だけでなく、歯を含めたお口全体の健康意識を高めることにより、「お口からの全身健康への貢献」を目指していくものです。

当工業会において、「歯と口の健康週間」は、たいへん重要な位置づけであり、「歯と口の健康週間」の意義と目的を周知するため、官民一体となった広報活動を展開してまいります。例年通り、厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会等と協力して「歯と口の健康啓発ポスター」の制作・配布をはじめ、標語募集キャンペーンなど幅広く展開し、「歯と口の健康週間」の一層の盛り上げを図ってまいります。

そして、現在の困難な状況をふまえて、毎日、習慣として行う歯みがきなどのセルフケアが、お口の健康を守り、全身の健康を守ることにもつながっているという情報をより積極的に発信してまいります。

当工業会は、2018年5月、「歯と口の健康を通じて、人々の快適な生活の実現と健康寿命の延伸に貢献する」ことを使命と定め、この使命を果たすための5つのビジョンを掲げました。現在は、日本歯磨工業会設立50周年となる2021年に向け、ビジョン実現のための施策を議論しながら、徐々に活動に反映させています。その一環として、お口のセルフケアの頼れるパートナーとしての啓発活動に取り組み、ホームページからシニア層に向けた啓発情報の提供や自治体との連携によるシニアの健康づくり

に貢献する活動、また、海外関連団体との交流などに取り組んでいます。今後、これらの活動をさらに加速してまいります。

健康寿命を延伸し、健康格差を縮小することは、健康長寿社会を実現するための国の課題でもあります。厚生労働省が提唱する健康日本21では、「歯と口腔の健康」分野における、う触予防と歯周病予防による健康寿命の延伸が分野目標として設定されています。子供から大人までの全世代にわたり、口腔衛生意識をいっそう高め、日常生活の中に浸透させていくことが、生活習慣病等の全身疾患の予防につながり、国民の健康増進・健康寿命の延伸に貢献するものと考えております。

当工業会では、関連するすべての人々の健康と安全を優先しながら、このような状況下においても工業会としての使命を果たしてまいります。皆様方には格別のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。